

# 北川村子育て教育ビジョン (案)

令和元年12月5日

第2回北川村の教育・子育ての今とこれからを考える懇談会

# ビジョン作成の背景

- グローバル化、IT化、高齢化、人口の減少など**社会環境の変化**
- 令和2年度より戦後最大の**教育改革が始動**
- 守りたい**北川村ならではの地域資源**
- 年少人口の減少による**村の教育環境の変化**

村の未来を支えてもらう子どもたちの教育環境を  
**地域一丸となって早急に整備する必要**

# 15才までに育ててほしい子どもの姿

## 子どもの現状

学力調査やアンケートから見える子どもの実態

### ■学力が向上傾向にある

H30・H31全国学力・学習状況調査では全国平均を大きく上回っている

### ■村に誇りを持ち、愛着を感じている子どもが多い

H30学校評価アンケート「北川村が好きですか」小学校児童肯定回答100%

### ■自分の考え・思いを相手に伝えることについては改善の余地がある

H28～30学校評価アンケート「そう思う」回答 74%→57%→63%

また、地域・保護者・保育所・学校・行政などで村の子どもの現状を議論

『自己肯定感が低い』『表現する力が弱い』『生活リズムがついていない』

『人間関係の固定化』『地域コミュニティの弱体化』などの課題もあると分析

# 15才までに育ててほしい子ども姿

現状を踏まえて、中学校卒業時までに

- 確かな学力
- 規範意識
- コミュニケーション力
- 自尊感情
- 自立心
- 故郷への愛着と誇り

## 目指す子ども像

『ふるさとへの愛着と誇りを持ち、  
学ぶ意欲にあふれ、  
未来を切り拓く、  
社会性豊かな子ども』

をしっかりと身に付けた

に育ててほしい。

# 保小中一体化について

## 目的

- 村で学ぶ子どもたちが、15年間の一貫した教育で、誰ひとり取り残されず学び、村の将来を担う人材になることができるための魅力的な環境をつくる

## 一体化のメリット

- 異学年交流の拡充や乗り入れ授業等による自己肯定感の高まり、学力の向上、学習意欲の向上、規範意識の向上など。
- 保小中が連携することにより、小1プロブレム、中1ギャップを未然に防ぐための対策が効果的に展開できる。
- 子どもの発達段階に合わせた指導（例えば、保小中間での乗り入れ授業、柔軟な学年設定、授業の前倒し、先送り）が可能。

# 具体的な取組～保小中の一体的な環境整備の推進～

## 令和2年度具体的内容

- ① **小中一貫校**への移行(※別紙資料参照)  
→ 手厚く魅力的な教育環境の維持・発展
- ② **北川学**の充実  
→ ふるさとへの愛着と誇りを持ち、村に貢献できる子どもを今以上に育む
- ③ **学校運営協議会制度**を活用した**地域ぐるみ教育**の推進  
→ 地域全体で子どもを支える仕組みを構築
- ④ **タブレット端末・電子教科書等、ICT環境**の整備  
→ 子どもに興味関心を抱かせわかりやすい授業を提供
- ⑤ **臨床心理士**の配置  
→ 子どもの力を最大限に発揮できるようにするための支援を充実
- ⑥ **子育て支援**として、**経済的支援や放課後子ども教室**を充実  
→ 子育て世代への支援とともに移住促進を図る

# 具体的な取組 ②北川学について

## 目的（なぜ北川学？）

- 子どもの**探求的な学びの姿勢**を育むとともに、**ふるさとへの愛着と誇り**を持たせ、村の将来の産業を担うなど**村に貢献**できる子どもを育む。
- 取組を通じて、「**確かな学力**」「**コミュニケーション力**」「**自立心**」「**故郷への愛着と誇り**」を今以上に身に付けさせたい。

## 概要

- **生活科・総合的な学習の時間**を柱とする**小中9年間を見通した活動**  
※「生活科」「総合的な学習の時間」は各地域の特色を生かせる教育活動であり、柔軟なテーマ設定が可能です。
- 各学年が**村の地域資源**を基にテーマを設定
- **小中学校全学年**が教職員や保護者・住民の皆様に**授業を公開**
- **地域のイベント**等にも子どもが出向き、PR活動を展開

# 具体的な取組 ②北川学について

## 本年度の公開授業と今後の方向性

### ○ 令和元年度公開授業一覧

- 小1「がっこうたんけん」【2月5日】
- 小2「ドキドキわくわく村たんけん」【7月5日】
- 小3「北川村の宝物を探してPRしよう」【1月30日】
- 小4「北川村のゆずでみんなを幸せにしよう」【11月21日】
- 小5「中岡慎太郎PR大作戦！！」【10月21日】
- 小6「伝統文化からつながる村おこしプロジェクト～やまなみ太鼓を通じて～」【6月28日】
- 中1「地域の魅力を伝えよう～北川村のここがすごい～」【2月25日】
- 中2「北川村プロジェクト～PRと貢献～」【10月21日】
- 中3「豊かな地域社会の創造 ～自分の将来設計と地域社会への貢献について考える～」【6月17日】

- 今後は、より探究的・系統的な学びとなるよう**学習活動を充実**するとともに、北川学の内容や子ども**の学びの姿を保護者や地域の皆様に伝えるためのPRを充実**させてまいります。



# 具体的な取組 ③地域ぐるみ教育について

## 目的

- 子どもたちが新しい学習指導要領に基づく「社会に開かれた教育課程」を享受できるよう、**地域住民が学校教育に参画**するための体制整備を行う。
- 子どもたちとふれあう中で、**地域の方々に元気を与える**ことができるようにし、村の活性化を図る。
- 地域でできることはできるだけ地域で行い、**学校の先生には教育活動に専念**してもらおうための環境を構築する。

# 具体的な取組 ③地域ぐるみ教育について

## 概要・今後の方向性

### ○コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置している学校)(令和2年度～)

#### 「保護者や住民の声を学校運営に適切に生かす仕組み」

- ・保護者や住民の代表者が定期的に保育所・学校と協議  
→運営方針の承認を受けて教育活動を展開

### ○地域学校協働本部(ゆずっ子応援隊)(令和2年度～)

#### 「地域住民が保育所や小中学校への活動に参画・協力する仕組み」

#### 【活動の参考例】

- ・地域学習への協力(ゆず、やまなみ太鼓、中岡慎太郎、郷土料理等)
- ・環境整備(校庭・園庭・田畑等の整備、庭木の剪定、式典の生け花等)
- ・学習支援等(裁縫、調理実習、読み聞かせ、昔遊び、自然遊び等)

# 具体的な取組 ④ICT環境の整備について

## 目的

- 子どもに興味関心を抱かせ、視覚的に訴える等わかりやすい授業を提供する。
- ICT機器の活用を促進し、子どもの表現活動を充実させる。
- 教員の教材研究等の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を充実させる。

## 概要・今後の方向性

- 次年度から小中学校全ての児童生徒にタブレット端末を配布し、授業等で活用。
- デジタル教科書を主要教科を中心に導入。
- 大型提示装置の導入を検討。(短焦点型プロジェクターor電子黒板)

# 具体的な取組 ⑤臨床心理士の配置について

## 目的

- 臨床心理士が子どもへのカウンセリングや保護者の相談等を受ける機会を提供し、子どもの健やかな成長と子どもの持つ力を最大限に発揮できるようにする。
- 保護者の皆様の子育てに対する負担や不安をできるだけ解消する。

## 概要・今後の方向性

- 子どもの心のケアや保護者の子育てに関するアドバイスを実施。
  - 新生児や園児、児童生徒の見取り及びカウンセリング
  - 保護者の皆様への子どもの成長や接し方など、子育てに関する助言
  - 教職員等への子どもの接し方等についての助言
- その他村民の皆様の心の健康に関する相談機会を提供。

# 具体的な取組 ⑥子育て支援の充実について

## 目的

- 現在の村内在住の子育て世代への経済的支援を図ることで、子育ての負担軽減を図る。
- 放課後子ども教室により、「子育てしやすい 働きやすい」環境を充実させるとともに、子どもへの体験活動の機会を提供する。
- これらの子育て支援を充実させることによって子育てしやすい村をPRし、今後の村への移住促進を図る一助とする。

## 概要・今後の方向性

- 子育て支援について
  - ・子ども子育て会議等において、経済的支援や家庭教育の充実等について検討。
- 放課後子ども教室等について
  - ・村内在住の高校・大学生等も含めたスタッフの拡充を図り、特に長期休業中の受け入れ時間の拡充等について検討。
  - ・様々な体験活動を充実させる。

# 今後の検討事項

- 村の地域資源のさらなる活用
  - 就学前からの**子どもの自立や豊かな感性を磨く取組**（食育活動、アート教育等）
- 生徒の語学力の向上の体制整備（CIRとALTの2名配置開始）
  - 海外派遣事業**の拡充等
- 子育て世代の移住促進を図り、児童生徒数を確保する観点
  - 山村留学制度等**の在り方
- ICTの環境整備
  - 専門家や高校、大学等との遠隔授業**の在り方
- 村の公園・図書館環境が脆弱、子育て世代の移住促進を図る観点
  - 子育て・文教エリアの魅力ある環境整備と保小中の一体的な組織体制**の在り方

# 今後のスケジュール(案)

- 令和元年11月 ■北川学等の情報発信  
※役場ホームページ、フェイスブック、ツイッター
- 令和元年12月5日 ■懇談会において子育て教育ビジョン(案)の説明
- 令和2年1～2月 ■ビジョン各項目の詳細内容についての説明会、意見募集  
※ご質問・ご意見など、説明会時あるいは  
随時専用メールにいただければ返答します。
- 令和2年3月 ■子育て教育ビジョン決定
- 令和2年4月～ ■小中一貫校のスタート(※今後の協議を踏まえて)  
学校運営協議会立ち上げ

